

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「ロケ地」を活用した諏訪エリア観光周遊事業
事業主体 (連絡先)	諏訪地方観光連盟 0266-52-4141
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 (ア) 特色のある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,806,483 円 (うち支援金: 2,242,000 円)

事業内容

- ①映画「怪物」ロケ地 MAP 作成・ロケ地特設サイト構築
- ②映画「怪物」是枝監督トークショー・映画ゆかりの小道具づくりワークショップ・諏訪シネマズ認定セミナー開催
- ③映画「怪物」諏訪エリア巡回パネル展の開催
- ④映画「怪物」ロケ地サイクルツアーの開催 (モニターツアー1回、リアルツアー1回)・「#怪物ロケ地」で投稿するインスタグラムフォトキャンペーンの開催
- ⑤地元事業者と連携した地域密着型の「怪物」フェスの開催



「怪物」是枝監督トークショー

【目標・ねらい】

- ・映画「怪物」による諏訪地域の認知度の向上、映画ファン・ロケ地ファンの増加
- ・ロケ地巡りに訪れる観光誘客の促進
- ・ロケ地を活用したサイクルツーリズムの推進

※自己評価【 A 】

【理由】

映画「怪物」の海外映画祭での評価、国内での大ヒットもあり、映画の劇場公開が終わった現在も県内外・国外（特に韓国・台湾）からも諏訪地域へロケ地巡りに訪れている。交流・関係人口も創出し、土産購入など地域経済も活性化した。

事業効果

- ①欲しい情報を網羅し、誰でもロケ地巡りができるような MAP 及びロケ地特設サイトを作成したことで、県内外から多くの「怪物」ファンがロケ地巡りに訪れた。
- ②ロケ地となった地元の盛り上がりの形成及びシビックプライドを醸成することができた。また、諏訪地域のロケ協力体制の強化に繋がった。
- ③諏訪地域6市町村の各所(10ヵ所以上)でパネル展を開催し、ロケ地となった諏訪地域でしか見られない撮影風景などのパネルを展示し、フィルムコミッション活動の認知度向上、「怪物」ファンの増加に繋がった。
- ④映画のロケ地とサイクリングを融合させ、新たな視点によるサイクルツーリズムを推進させた。リアルサイクルツアーでは県外からの参加者が9割以上であった。また、インスタキャンペーンでは、243件の応募があり、ロケ地周遊を促進することができた。
- ⑤怪物フェス及び映画美術セット展示期間中、県外1135名以上、県内716名以上、国外11名以上の来場があった。

今後の取り組み

諏訪地域のロケ地としての認知度、またロケ作品が増加傾向にある。近年では「怪物(2023年公開)」だけではなく、映画「百花(2022年公開)」、映画「ゴジラ-1.0(2023年公開)」、映画「悪は存在しない(2024年公開)」など後を絶たない。今回の映画「怪物」の事業を通して、映画のロケ地になることは、映画の持つブランド力やキャストの話題性を利用して国内だけでなく世界中へ『諏訪地域』を発信するチャンスに繋がることが明確となった。一時的な事業にせず、今後も継続的な事業として発展させていく必要性を感じた。諏訪地域に来れば作品のファンがいつでも楽しむことができ、交流人口・関係人口の増加に繋げる為の【拠点】となる場所を創出するなどの事業にも取り組んでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある